

宮前遺跡周辺の遺跡

今回の調査地点(1)では、主に中世から近世の溝跡や土壌・地下式坑などが数多く見つかっています。近隣の宮前本田遺跡(8)は、同時期の墓域や在地有力者の館(または屋敷)と推定されています。また九右衛門遺跡(4)や伝源経基館跡(14)なども分布し、この地域には中世から近世にかけての遺跡が集中していることが明らかになってきました。



台地・段丘	自然堤防	氾濫平野	河川
-------	------	------	----

- | | | | | |
|------------|-----------|------------|-----------|-----------|
| 1 宮前遺跡 | 2 平右衛門遺跡 | 3 箕田古墳群 | 4 九右衛門遺跡 | 5 富士山遺跡 |
| 6 富士山南遺跡 | 7 宮前本田北遺跡 | 8 宮前本田遺跡 | 9 登戸新田北遺跡 | 10 登戸新田遺跡 |
| 11 登戸本村遺跡 | 12 根際遺跡 | 13 城山遺跡 | 14 伝源経基館跡 | 15 前通遺跡 |
| 16 二本木遺跡 | 17 神明遺跡 | 18 宮地3丁目遺跡 | 19 栄町遺跡 | 20 鴻巣御殿跡 |
| 21 本田二ノ割遺跡 | 22 糠田古墳群 | | | |

「国土地理院 地理院地図」と「埼玉県埋蔵文化財情報公開ページ」より作成

鴻巣市

みやまえ

宮前遺跡(第1次)



南の谷へ向かってのびる近世の溝跡

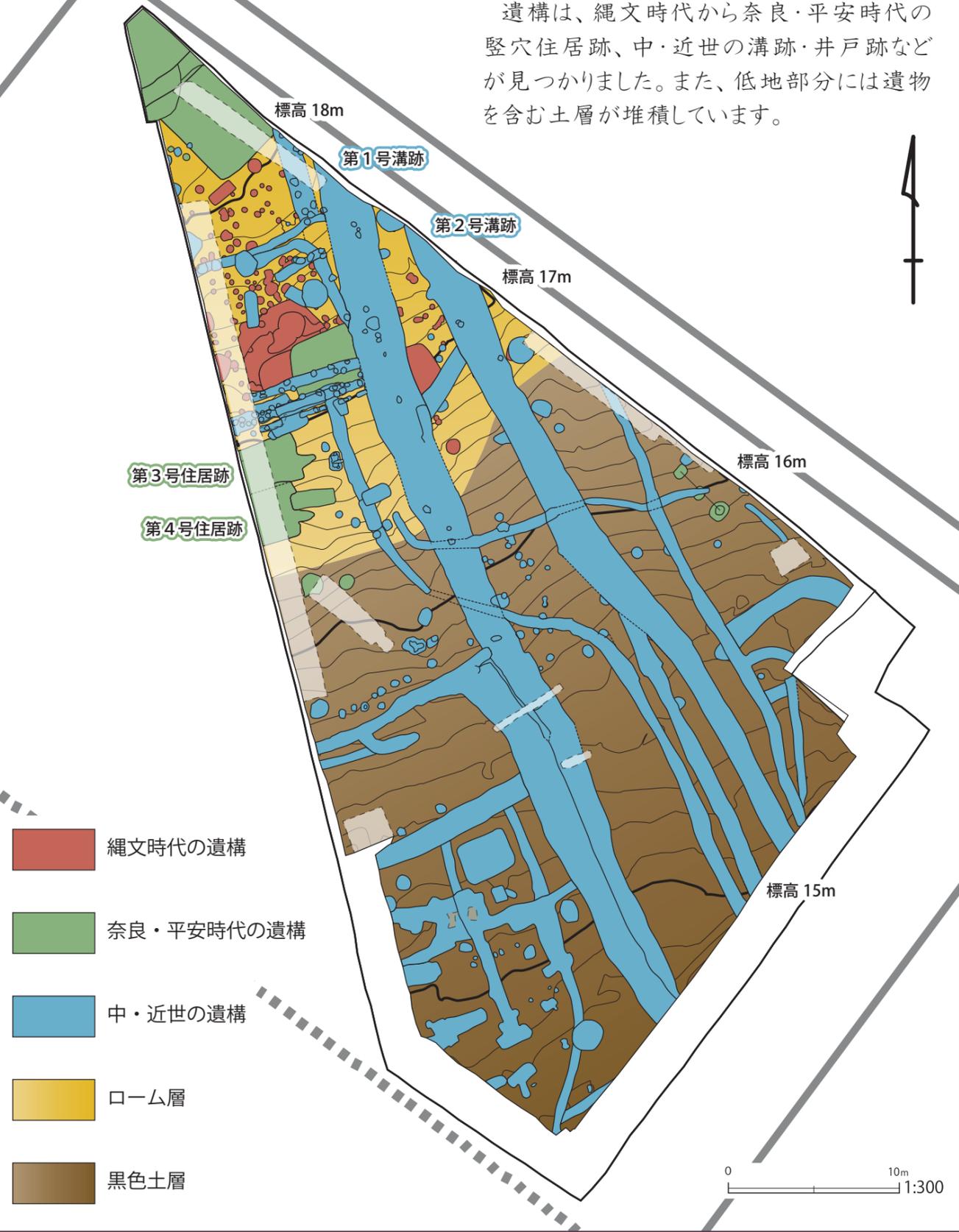
宮前遺跡の発掘調査は、一般国道17号(上尾道路Ⅱ期)建設事業に伴って、令和3年(2021)7月から開始しました。

今回の調査では、縄文時代、奈良・平安時代、中・近世の遺構や遺物が見つかりました。この見学会では、現在、調査を進めている奈良・平安時代から近世に関する成果を御覧いただきます。

第1次調査区全体図

第1次調査区は、北側のローム台地から南側の黒色土が堆積する低地へ向かって傾斜しています。その高低差は約3mあります。

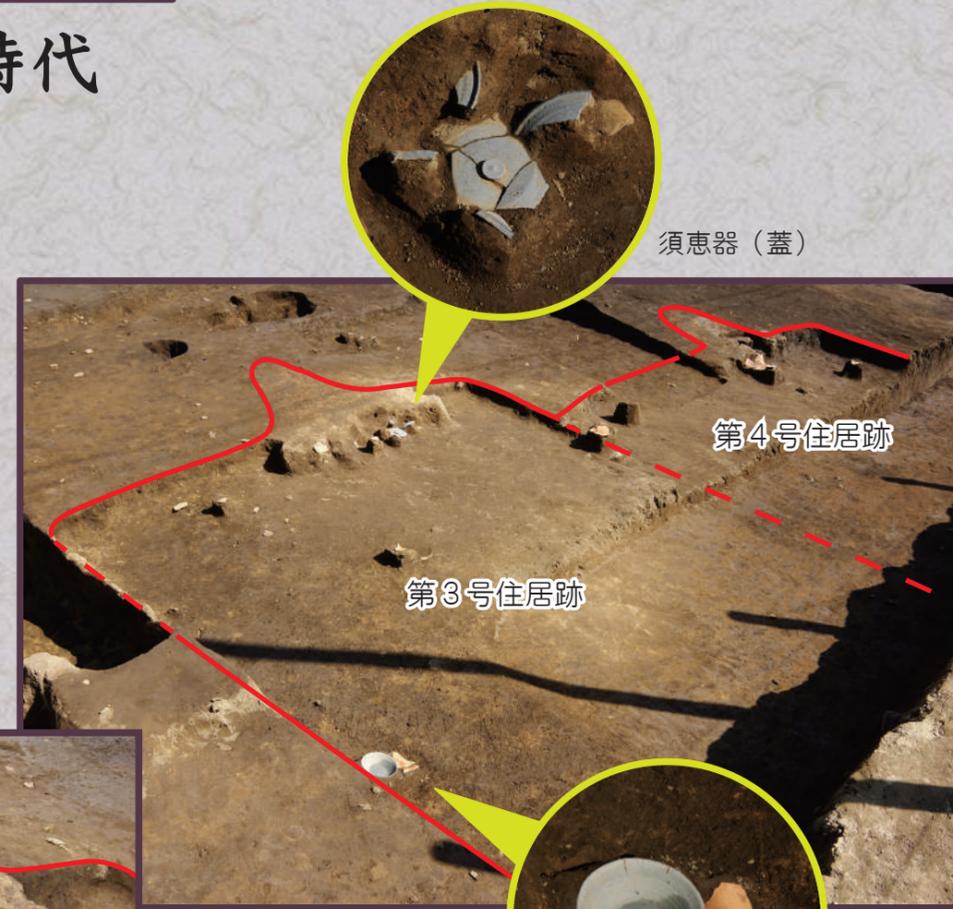
遺構は、縄文時代から奈良・平安時代の竪穴住居跡、中・近世の溝跡・井戸跡などが見つかりました。また、低地部分には遺物を含む土層が堆積しています。



奈良・平安時代

奈良・平安時代の竪穴住居跡は、7軒見つかりました。第3号住居跡と第4号住居跡は等高線に沿って並び、いずれも東側にカマドを構えています。カマドや住居の床面から、須恵器や土師器が出土しました。

須恵器は、鳩山町周辺の窯で焼かれた製品(8世紀後半)と考えられます。



中・近世

中・近世の溝跡は、約30条見つかりました。第1号溝跡と第2号溝跡は、「薬研堀」と呼ばれる形態の溝です。並走して北から南へのびています。

溝よりも古い時代の遺構を壊して掘られています。

